

2026 年 9 月 29 日

各 位

中外製薬株式会社
InxMed (Hong Kong) Limited

中外製薬と InxMed、RAF-MEK 分子糊 SPYK04 に関する全世界における ライセンス契約を締結

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）と InxMed (Hong Kong) Limited（本社：中国、CEO：Zaiqi Wang、以下、InxMed）は、中外製薬が創製した固形がんを対象とする RAF-MEK 分子糊 SPYK04 に関する全世界におけるライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約締結により、中外製薬は SPYK04 に関する全世界・全適応症に対する開発・製造・販売の独占的実施権を InxMed に許諾するとともに、その対価として契約一時金、ならびに上市成功後には売上高に応じたロイヤルティを受け取ります。また、InxMed が再許諾先からロイヤルティ以外の収入を受領する場合には、その一定割合を受領します。

SPYK04 は、中外製薬が創製した固形がんを対象とする低分子化合物です。がん細胞の増殖に関わるタンパク質である RAF と MEK を糊のように結び付ける「分子糊」として作用し、不活性型の RAF-MEK 複合体を形成させることで、がんの増殖シグナルを遮断し、抗腫瘍効果を発揮することが期待されます。

中外製薬 代表取締役社長 CEO の奥田 修は、「がん領域に強みを持つ InxMed と、SPYK04 のライセンス契約を締結できたことを嬉しく思います。InxMed により SPYK04 の特性を活かした開発が着実に進み、世界の患者さんにがん治療薬として一日も早く届けられることを期待しています」と語っています。

InxMed 創業者兼 CEO の Dr. Zaiqi Wang は、「SPYK04 について中外製薬とライセンス契約を締結できたことを大変光栄に思います。本協業は、がん領域におけるさらなる個別化医療を提供するという当社の使命における重要なマイルストーンとなるものです。SPYK04 の開発を迅速に進め、世界中のがん患者さんに、より有効で持続的な治療選択肢をお届けできる日を楽しみにしています」と述べています。

中外製薬について

中外製薬（本社：東京）は、抗体エンジニアリング技術をはじめとする独自の創薬技術基盤を強みとする、研究開発型の製薬企業です。ロシュ・グループの重要なメンバーであるとともに、東京証券取引所プライム市場の上場企業として、自主独立経営の下、アンメットメディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。中外製薬に関するさらに詳しい情報は <https://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧ください。

InxMed について

InxMed (Hong Kong) Limited は 2017 年に設立された後期臨床段階のバイオテクノロジー企業であり、がん治療における中心的な課題である腫瘍の防御機構に起因する薬剤耐性の克服に取り組んでいます。当社の戦略は、複数のがん種に共通する重要なシグナル伝達のハブに焦点を当てており、特に接着斑キナーゼ（FAK）およびインテグリン経路に注目しています。これらは腫瘍細胞の生存において重要な役割を果たし、さまざまな治療モダリティにおいて治療抵抗性の一因となっています。同時に、がん関連線維芽細胞（CAF）を標的とすることで、腫瘍細胞を取り巻く防御的なバリアの破壊を目指しています。これらの統合的な取り組みにより、がん治療の再定義と新たな治療イノベーションの創出を目指しています。InxMed は、腫瘍の防御機構の克服に焦点を当てた、高い差別性を有するパイプラインを構築しています。主要開発品である ifebemtinib は現在、承認取得を目的としたピボタル試験を実施中で、中国国家薬品监督管理局（NMPA）より画期的治療薬（Breakthrough Therapy）指定を、米国食品医薬品局（FDA）より Fast Track 指定を取得しています。さらに、InxMed の臨床段階の開発品と相乗効果を示す、複数の革新的な前臨床段階の候補品も臨床試験に向けて開発が進んでいます。詳細につきましては、en.inxmed.com をご覧ください。

以上